



変化する世界に おけるPRI (PRI IN A CHANGING WORLD)

署名機関向けコンサルテーション

2022年12月

PRI MISSION AND PRINCIPLES

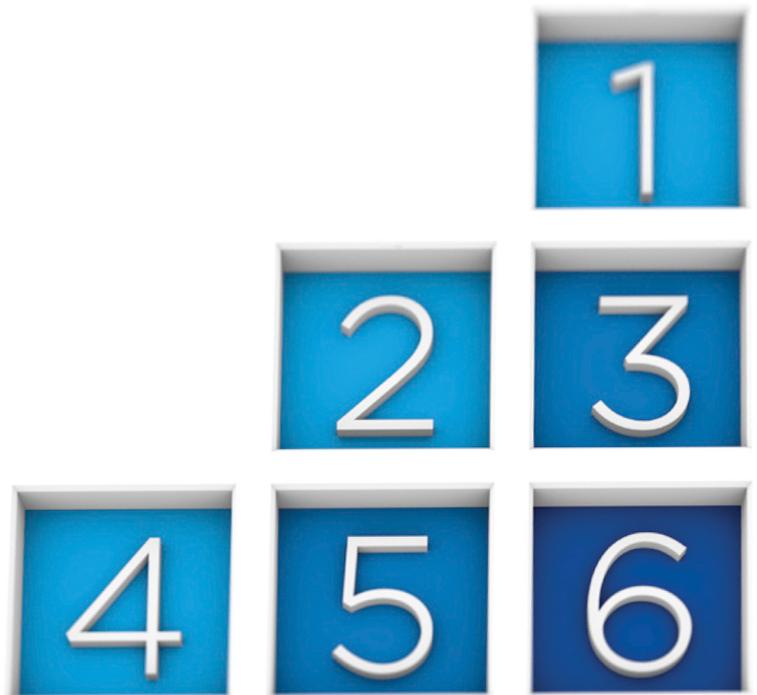
PRI'S MISSION

We believe that an economically efficient, sustainable global financial system is a necessity for long-term value creation. Such a system will reward long-term, responsible investment and benefit the environment and society as a whole.

The PRI will work to achieve this sustainable global financial system by encouraging adoption of the Principles and collaboration on their implementation; by fostering good governance, integrity and accountability; and by addressing obstacles to a sustainable financial system that lie within market practices, structures and regulation.

THE SIX PRINCIPLES

- 1 We will incorporate ESG issues into investment analysis and decision-making processes.**
- 2 We will be active owners and incorporate ESG issues into our ownership policies and practices.**
- 3 We will seek appropriate disclosure on ESG issues by the entities in which we invest.**
- 4 We will promote acceptance and implementation of the Principles within the investment industry.**
- 5 We will work together to enhance our effectiveness in implementing the Principles.**
- 6 We will each report on our activities and progress towards implementing the Principles.**



PRI DISCLAIMER

The information contained on this document is meant for the purposes of information only and is not intended to be investment, legal, tax or other advice, nor is it intended to be relied upon in making an investment or other decision. All content is provided with the understanding that the authors and publishers are not providing advice on legal, economic, investment or other professional issues and services. PRI Association is not responsible for the content of websites and information resources that may be referenced. The access provided to these sites or the provision of such information resources does not constitute an endorsement by PRI Association of the information contained therein. PRI Association is not responsible for any errors or omissions, for any decision made or action taken based on information on this document or for any loss or damage arising from or caused by such decision or action. All information is provided "as-is" with no guarantee of completeness, accuracy or timeliness, or of the results obtained from the use of this information, and without warranty of any kind, expressed or implied.

Content authored by PRI Association

For content authored by PRI Association, except where expressly stated otherwise, the opinions, recommendations, findings, interpretations and conclusions expressed are those of PRI Association alone, and do not necessarily represent the views of any contributors or any signatories to the Principles for Responsible Investment (individually or as a whole). It should not be inferred that any other organisation referenced endorses or agrees with any conclusions set out. The inclusion of company examples does not in any way constitute an endorsement of these organisations by PRI Association or the signatories to the Principles for Responsible Investment. While we have endeavoured to ensure that information has been obtained from reliable and up-to-date sources, the changing nature of statistics, laws, rules and regulations may result in delays, omissions or inaccuracies in information.

Content authored by third parties

The accuracy of any content provided by an external contributor remains the responsibility of such external contributor. The views expressed in any content provided by external contributors are those of the external contributor(s) alone, and are neither endorsed by, nor necessarily correspond with, the views of PRI Association or any signatories to the Principles for Responsible Investment other than the external contributor(s) named as authors.

責任投資に対する期待の変化

2006年の設立以来、[責任投資原則 \(Principles for Responsible Investment: PRI\)](#) は責任投資コミュニティにおいて欠かせないものとなり、世界市場における責任投資方針の普及と実践を支援し、奨励しています。世界中でAUMで120兆ドルを超える5,000以上のPRI署名機関が [6原則](#) にコミットしています。この成長に伴い、責任投資を行う者のあるべき姿の解釈は変わりました。グリーン・ウォッシングに対する非難など、責任投資とは何か、そして署名機関のステータスが表すものは何かに、混乱が生じるようになりました。

変化する投資家のマナデート、クライアントの期待、法的要件に基づき、責任投資の意図や取り組みを変えることが期待されています。それぞれの目的と取り組みは責任投資のエコシステムにおいて正当な役割を果たします。PRI原則に署名するからと言って、投資家は [すべての人にとって豊かな世界](#) に積極的に貢献することを強いられるわけでも、そうすることを保証するわけでもありません。

しかしながら、さまざまな取り組みに対する期待、そしてその結果をさらに調査しなければならない時期に来ています。

また、現実社会のアウトカムにおいて投資家が主要な役割を担うという期待が高まっており、クライアント、受益者、規制当局、その他のステークホルダーの要求も増えています。これは、持続可能な開発目標 (SDGs)、パリ協定 (2015年)、国連のビジネスと人権に関する指導原則など、重要課題に関する世界的な合意と枠組みが国家目標にもなっていることに一部起因しています。

重要なのは、環境、社会、ガバナンス (ESG) のリスクが減少するどころか増加しているため、責任投資の役割と関連性への疑問が高まっていることです。ESGリスクが多ければ、金融、経済、政治システム全体への影響が高まります。過去8年間で6つの安全を脅かすプラネタリー・バウンダリーが破られ、温室効果ガスの排出量は2022年に記録的なレベルに増加しました。¹

現時点で、投資家には責任投資を進める上で果たすべき重要な役割があり、PRIにとっても投資家と連携して取り組むことが重要です。

私たちは、責任投資家に対するこれらの変化する期待と、また、それによってPRIの役割が、署名機関を支援する上でどのように変わるかについて、署名機関の見解を理解したいと考えています。

本調査は、責任投資と署名機関の将来に関する重要事項を理解する目的で実施します。PRIのビジョン、ミッション、パーパス、ならびにPRIが署名機関に提供する価値について調査します。

皆様が重要視していることについてお伺いさせていただきます。

本調査では、次の7つのトピックについてお伺いします。

1. 今日、責任投資は何を意味するのか？
2. 署名機関の進捗状況についての期待
3. 金融システムにおける責任投資家の役割、政策変更への影響、サステナビリティ・アウトカムに対する署名機関の行動に対する障壁
4. グローバルな、また地域特有の署名機関のニーズに対するPRIの対応、および署名機関が直面している課題
5. PRIの戦略設定方法とガバナンス
6. PRIのミッション・ステートメント
7. 署名機関のPRIへの関与の度合い、PRIに対する満足度

アンケートの質問に加えて、議論されている問題に関する背景説明と、このコンサルテーションの前半部分に続いて私たちの考えを説明します。

コンサルテーションの過程 およびタイムライン

PRIは署名機関を中心とした組織として、すべての署名機関の皆様にご本[変化する世界におけるPRI](#)コンサルテーションへの参加をお願いいたします。

アンケートは2部構成のコンサルテーションの第2部にあたります。

第1部：署名機関の議論 (2022年9月～12月)

主要市場で署名機関向けワークショップを開催し、署名機関とコンサルテーション・テーマについて議論する場を設けました。30都市で38回の対面ワークショップと1回のオンライン・ワークショップを実施し、650以上の署名機関が参加しました。

第2部：アンケート (2022年11月～2023年1月)

このオンライン・アンケートでは、すべての署名機関から正式なフィードバックを取得することを目的としています。各組織にアンケート回答用の固有のリンクを、各署名機関の主たるPRI連絡先(メイン・コンタクト)および第2のPRI連絡先(セカンダリー・コンタクト)に登録がある方に送信します。

- 各組織で1回答をお願いいたします。
- 2023年1月27日17:00 (グリニッジ標準時)までに回答を送信してください。

分析を容易にするために、英語で回答していただけますと幸いです。しかしながら、中国語、日本語、フランス語、ポルトガル語、スペイン語についても対応しており、それ以外の言語につきましても回答を受け付けられるように最善を尽くします。

PRI理事会は、正式なコンサルテーションのフィードバックを確認し、分析後に提案があれば話し合い、次のステップに合意します。PRIは以下について共有します。

- PRI理事会からの正式な回答
- アンケート回答のまとめ
- すべてのアンケートの回答全文(個々の署名機関属性は特定しません)

詳細につきましては、[変化する世界におけるPRI](#)ウェブページをご覧ください。ご質問がございましたらPRIConsultation@unpri.orgまでメールでご連絡ください。

PRIの正式なコンサルテーション

これは[正式なコンサルテーション](#)であり、組織への重要な変更、つまり署名機関の期待、関わり、またはコミットメントに影響を与える可能性のある変更について議論または提案するときに行うものです。

3年間の戦略計画を採用する前、またはガバナンス構造、パーパス、ミッション、原則、または料金体系に重大な変更を加える前に、正式なコンサルテーションを行う必要があります。[過去の正式なコンサルテーション](#)のトピックには、3年間の戦略計画、年次報告と評価(レポートとアセスメント)、署名機関の説明責任と最低要件、持続可能な金融システム作業プログラムなどがあります。

それぞれの正式なコンサルテーションに関して、PRIはコンサルテーション文書を発行し、最低でも4週間のコンサルテーション期間を設ける必要があります。また、地域限定イベントやウェビナーなどの複数のチャンネルを使用して署名機関がフィードバックを提供できるようにします。受け取った書面によるフィードバックのまとめ、コンサルテーションの回答全文(ただし、個々の署名機関の属性は特定しません)、PRI理事会からの正式な回答を常に公開しています。

1.

今日、責任投資は何を意味するのか

責任投資に対する理解と期待は、PRIが設立された16年前から大きく変化しています。

PRIは広範で包括的な組織であり、投資家のマンドート、顧客の期待、規制要件が異なれば、責任投資に対する意図や取り組みも異なることが期待されることを認識しています。

セクション1の選択肢は、各取り組みが責任投資機関の関連する財務目標とも一致していることを前提としています。

質問

1.1 あなたの組織における責任投資を最も正確に言い表している文章はどれですか。

(1つ選択)

- a) 責任投資にはESGリスクの管理を含む。
例：ESG情報とデータを使用して、短期、中期、または長期のポートフォリオ内の保有に対するリスクを評価し、結果としてエクスポージャーを調整する。
- b) 責任投資には、ESGリスクの管理と現実社会のプラスとマイナスの持続可能性のアウトカムの特定を含む。
例：投資家は、さまざまなSDGsとどの程度一致しているかという観点からポートフォリオをレビューまたは詳細に計画する。またはTCFDに沿った温室効果ガス排出量の追跡と開示を行う。もしくは、タクソミーを使用して、ポートフォリオと環境目標との整合性を評価する。

- c) 責任投資はESGリスクの管理と、現実社会のプラスとマイナスの持続可能性のアウトカムの特定、および持続可能性のアウトカムに対しての行動を含む。
例：資本配分、スチュワードシップ、および/または政策立案者とのエンゲージメントを活用し、特定のSDGまたは他のグローバル目標に関連するアウトカムを形成することを目指す。その意図は、マイナスの結果を減らすことであつたり、プラスの結果を改善することであつたりする。

1.2 あなたの組織において、責任投資は今後のようにあるべきかを最も正確に言い表している文章はどれですか。

(1つ選択)

- a) 責任投資にはESGリスクの管理を含む。
例：ESG情報とデータを使用して、短期、中期、または長期のポートフォリオ内の保有に対するリスクを評価し、結果としてエクスポージャーを調整する。
- b) 責任投資には、ESGリスクの管理と現実社会のプラスとマイナスの持続可能性のアウトカムの特定を含む。
例：投資家は、さまざまなSDGsとどの程度一致しているかという観点からポートフォリオをレビューまたは詳細に計画する。またはTCFDに沿った温室効果ガス排出量の追跡と開示を行う。もしくは、タクソミーを使用して、ポートフォリオと環境目標との整合性を評価する。

- c) 責任投資はESGリスクの管理と、現実社会のプラスとマイナスの持続可能性のアウトカムの特定、および持続可能性のアウトカムに対しての行動を含む。

例：資本配分、スチュワードシップ、および/または政策立案者とのエンゲージメントを活用し、特定のSDGまたは他のグローバル目標に関連する成果を形成することを目指す。その意図は、マイナスの結果を減らすことであったり、プラスの結果を改善することであったりする。

1.3 このセクションの質問に関して、追加のコメントがあれば記入してください。

(自由記入欄)

すべてのPRI署名機関が責任投資の実践を改善することが期待されています。報告と評価を通して、すべての署名機関が実践状況を改善できる方法に関してヒントを得られるように努めてきました。最低要件を導入し、さらなる実践に関する期待値も設定しました。PRIの最低要件は次の通りです。

- 責任投資方針、ESG要因に関する全体的なアプローチやガイドラインを設定し、AUMの50%以上をカバー
- 責任投資に関する上級レベルの監督
- 責任投資を実施するスタッフ(内部または外部)の確保

ネットゼロ・アセットオーナー・アライアンスやクライメート・アクション100+などのイニシアチブでは、署名機関に対し、次の5つのリーダーシップ行動に沿って動くよう求めています。目的意識、一貫性、透明性、関与、責任感(成果を理解し、害を最小限に抑えるため)。これらの行動は、そのようなイニシアチブの目的と委託条件に組み込まれています。

すべての署名機関が利用できるガイダンスと学習の機会がありますが、これらの最低要件とリーダーシップ行動の間で期待されることはやや不明確です。グリーン・ウォッシングの非難があるのは、異なる責任投資の目的と取り組みが正当なものであるということが、特に明確に説明でき、透明性をもって検証できる場合には、あまり明確でない可能性があることを示唆しています。

これまでのコンサルテーションのフィードバックから、署名機関は責任投資の実践を経時的に進めることを期待していることがわかります。また、署名機関はそのためにより多くの支援を求めていること、彼らにとってより関連性の高い分野において進歩を実証できることを求めていることも明らかです。PRIについては、大規模で多様、かつ拡大する署名機関をサポートするためのリソ

ースと能力のバランスをとることと、可能な取り組みについてあまりに規範的になりすぎないようにすることとの間で、難しいトレードオフがあります。

私たちは、PRIが署名機関とともに、署名機関の進捗に関するのフレームワークを開発することを提案しています。そこでは署名機関がそれぞれの組織に関連する目的と行動を説明する分野に参加できるようにします。

PRIが署名機関とこの取り組みを追求する場合、次のことを提案します。

- 進捗に関するのフレームワークは、署名機関と共同で設計されます。
- どの分野への参加も任意であり、不参加によってPRIから何らかの影響を受けることはありません。
- 署名機関は、関連するいくつかの分野にも参加し、必要に応じて分野を変更することができます。
- 署名機関は、自ら選択しない限り、追加のコミットメントと活動について評価されません。
- システムはシンプルに保たれており、責任投資の実践を正確に説明するための十分な選択肢はあるものの、市場が複雑さに圧倒されることはありません。

質問

2.1 あなたの考えは次の記述にどの程度当はまりますか。

「PRI署名機関として、長期的に責任投資活動を進めていくことを期待している。」

(1つ選択)

- a) 非常に当てはまる
- b) 当てはまる
- c) どちらでもない
- d) 当てはまらない
- e) まったく当てはまらない

2.2 あなたの考えは次の記述にどの程度当はまりますか。

「PRI署名機関は、責任ある投資家としてそれぞれ異なる意図と行動を持っており、現状よりも、より適切な条件でその進捗を示すことができるはずである」

(1つ選択)

- a) 非常に当てはまる
- b) 当てはまる
- c) どちらでもない
- d) 当てはまらない
- e) まったく当てはまらない

2.3 進捗を示すために次のうちどの方法を選びますか。

(当てはまるものをすべて選択)

- a) 責任投資の目的を説明する
例：セクション1の記述に基づく
- b) 持続可能性課題への取り組み
例：気候変動、人権ガバナンス
- c) 投資活動における進捗
例：スチュワードシップ、資本配分、開示、選定/指名/モニタリング
- d) 資産クラスにおける進捗
例：債券、上場株式、プライベートマーケット
- e) その他(具体的に記入してください)

2.4 前の質問で選択した各カテゴリについてどの程度公的に透明性を確保していますか。

(選択した各カテゴリのスケールにつき1つ選択)

	完全に透明	やや透明	透明でない	わからない
責任投資の目的を説明する 例：セクション1の記述に基づく	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
持続可能性課題への取り組み 例：気候変動、人権ガバナンス	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
投資活動における進捗 例：スチュワードシップ、資本配分、開示、選定/指名/モニタリング	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
資産クラスにおける進捗 例：債券、上場株式、プライベート・マーケット	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その他(前の質問における回答)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

2.5 PRIは、署名機関の進捗状況のカテゴリ設定に対して署名機関主導のプロセスを確立する必要がありますか。

(はい、または、いいえで回答)

- a) はい
- b) いいえ

2.6 PRIがこのアイデアを進める場合、あなたの組織はそのようなプロセスに積極的に参加したいと思いますか。

(はい、または、いいえで回答)

- a) はい
- b) いいえ

2.7 セクション2の質問に関する追加コメントがあれば記入してください

(自由記入欄)

持続可能な金融システム

PRIのミッション・ステートメントは、責任投資を可能にし、報いあるものとするために、持続可能な金融システムの重要性を特定しています。私たちは、持続可能な金融システムとは、実体経済が社会の長期的なニーズに応えられるような方法で金融資産を創出し、評価し、取引するものと定義しています。

私たちと署名機関は、主に投資実践の変化、市場構造への影響、政策と規制の発展の支援を通して、持続可能な金融システムの達成に尽力しました。署名機関は、報告、金融規制、持続可能性の目標を達成するための経済の移行において、ESG課題に関する政府政策にさらに関与するようになっています。PRIは、署名機関に対して、ポジション・ペーパーや政府および規制当局へのコメント提出、署名機関のサイン・オン・ステートメント、テクニカル・ワーキング・グループへの参加など、政策へのエンゲージメントを支援しています。

これまでのコンサルテーションのフィードバックから、PRIは今後、政策と規制についてより多くの作業を行うことができると考えています。責任ある投資家は、持続可能性のアウトカムに影響を与える政策立案者、基準、メカニズムを支援する役割を担っており、責任投資の目的を実現するためには、最終的には政府による政策変更が必要であることがますます認識されるようになっていきます。金融システムと経済、環境、社会システム間のつながりを特定することが大切です。

PRIと署名機関がさらに政策に関与できる分野は次のとおりです。

- 政府との協働エンゲージメントを支援
- 投資先企業の政策活動に関する協働エンゲージメントを支援
- 基準設定主体、国際機関、その他の金融システム関係者と協力して、金融システムを持続可能性のアウトカムに合致

さらなる政策エンゲージメント活動を実施するにあたり、PRIは以下のことを確実にを行います。

- 署名機関が自己の組織の名前で発言しているときとそうでないときの明確化
- 政策の立ち位置を、署名機関と関連する分析とテストによって裏付け
- 政策エンゲージメント活動に参加する機会を、すべての署名機関が利用可能

質問

3.1 責任投資の適切な環境を作り出すために、PRIと署名機関がさらに影響を与えることができるのは金融システムのどのような側面ですか。

(自由記入欄)

3.2 PRIは、より積極的な政策エンゲージメントの役割を果たすことによって、署名機関を支援する必要がありますか。

(1つ選択)

- はい、PRIは政策エンゲージメントにおいてより積極的な役割を果たすべきです。
- いいえ、現在の政策エンゲージメントのレベルは適切です。
- いいえ、PRIは政策エンゲージメントにおいてあまり積極的な役割を持つべきではありません。
- 該当なし - PRIの政策エンゲージメント業務については知りません。

持続可能性のアウトカム

グローバルな持続可能性の目標はより明確であるにもかかわらず、表明された目標と達成されている実際の結果との間には大きな隔たりがあります。

隔たりが拡大し持続可能な金融市場が急速に成長することで、重大な失敗に対する訴訟など、金融慣行や法的請求に関して、市場監督当局が監視を強める状況となっています。

一部の法域では、投資家が持続可能な経済への移行において重要な役割を果たすことが期待されており、新たな政策、法律、ツールによって、投資家は持続可能性へのインパクト目標をさらに広範に追求できるようになっています。

より広義には、PRIの「[インパクトの法的枠組み](#)」プロジェクトでは、さらに幅広い法域の投資家が、財務目標の達成に役立つ場合には、持続可能性インパクトへの投資を考慮する法的義務を負う可能性が高いこと、また、状況によっては、投資家が財務目標の達成以外の理由で持続可能性目標を追求することも、それと並行してできることがわかりました。

質問

3.3 持続可能性のアウトカムにおける投資の行動に対する最も重要な障壁は何だと思いませんか。

(当てはまるものをすべて選んでください。)

- a) データと情報
- b) 規制と法律関連
- c) クライアント/受益者の要求やマンドレート
- d) 明確な基準や期待値
- e) 投資機会/パイプライン
- f) 影響力
- g) 能力と文化
- h) その他(具体的に記入してください)

3.4 これらを選択した理由を教えてください。

(自由記入欄)

3.5 セクション3の質問に関する追加コメントがあれば記入してください。

(自由記入欄)

PRIの署名機関のニーズに対する対応

PRIの現在の取り組みは、以下を含む一般化されたグローバルなアプローチで署名機関を支援することです。

1. 発生する課題やトピックについてのソート・リーダーシップ
2. ガイダンス、ツールおよび研修
3. 明確な期待値と説明責任
4. 時間の経過に伴う行動と進捗の認識
5. 進捗状況を追跡し、改善すべき領域を特定する能力
6. 責任投資家の規範と実現可能な環境に影響を与える機会
7. 協働し、エンゲージメントをする機会 (PRIが促進する活動やイニシアチブを含む)
8. 集まり、ネットワークを築く機会

PRIは急速に成長しており(最近では前年比25%)、署名機関の基盤はますます多様化しています。署名機関は、責任投資の実施の深さ、地域の規制や運用状況および投資方法がそれぞれ異なります。

しかしながら、今までのところ、特定の地域政策ソリューションを除いて、PRIはすべての市場のすべての署名機関に単一のグローバル・ツールを提供しています。多くの署名機関が、グローバルなベスト・プラクティスを得られる重要な情報源として、PRIの提供サービスがグローバルな性質であることを高く評価していますが、特定の投資家タイプ、地域の状況、および経験レベルに対応するサポートを求めている署名機関もあります。PRIは、これらのニーズと、大規模なサービスを提供する能力とのバランスを取る必要があります。

以下の質問では、署名機関の価値の要素と、グローバル・レベルやローカル・レベルに固有の要素を探ります。

質問

4.1 あなたにとって、PRIの提供サービスのどの部分が最も重要ですか。

(当てはまるものをすべて選択)

- a) 発生する課題やトピックについてのソート・リーダーシップ
- b) ガイダンス、ツールおよび研修
- c) 明確な期待値と説明責任
- d) 時間の経過に伴う行動と進捗の認識
- e) 進捗状況を追跡し、改善すべき領域を特定する能力
- f) 責任投資家の規範と実現可能な環境に影響を与える機会
- g) 協働し、エンゲージメントをする機会 (PRIが促進する活動やイニシアチブを含む)
- h) 集まり、ネットワークを築く機会
- i) その他(具体的に記入してください)

4.2 前の選択肢のそれぞれについて、PRIが現在提供しているものと同等の、あるいはそれ以上の、またはそれ以下のレベルの提供を求めますか？

(各項目についてドロップダウン選択肢から同等、それ以上、それ以下を選択)

- a) 発生する課題やトピックについてのソート・リーダーシップ
- b) ガイダンス、ツールおよび研修
- c) 明確な期待値と説明責任
- d) 時間の経過に伴う行動と進捗の認識
- e) 進捗状況を追跡し、改善すべき領域を特定する能力
- f) 責任投資家の規範と実現可能な環境に影響を与える機会
- g) 協働し、エンゲージメントをする機会 (PRIが促進する活動やイニシアチブを含む)
- h) 集まり、ネットワークを築く機会
- i) その他(前の質問における回答)

4.3 あなたの考えは次の記述にどの程度当はまりますか。

「PRIは、国または地域の責任投資の実践コミュニティの発展をさらに支援する必要があります（同様の目的に向かって取り組んでいる組織との協力を焦点を当て、取り組みの重複を避けることを目的とする場合）」

(1つ選択)

- a) 非常に当てはまる
- b) 当てはまる
- c) どちらでもない
- d) 当てはまらない
- e) まったく当てはまらない

4.4 あなたの組織にとって、(既存のグローバルでのサービスに加えて) 国別でのサービスに注目することは、次のそれぞれについて、どの程度重要ですか？

(当てはまるものをすべて選択)

- a) 発生するトピックや課題についてのソート・リーダーシップ
- b) ガイダンス、ツールおよび研修
- c) 明確な期待値と説明責任
- d) 時間の経過に伴う行動と進捗の認識
- e) 進捗状況を追跡し、改善すべき領域を特定する能力
- f) 責任投資家の規範と実現可能な環境に影響を与える機会
- g) 協働し、エンゲージメントをする機会 (PRIが促進する活動やイニシアチブを含む)
- h) 集まり、ネットワークを築く機会
- i) その他(具体的に記入してください)

4.5 責任投資家として直面している最大の題は何ですか。

(自由記入欄)

4.6 この問題を克服するために最も助けにと思われるものは何ですか。

(自由記入欄)

4.7 セクション4の質問に関する追加コメントがあれば記入してください。

(自由記入欄)

戦略設定方法

PRIは目下、3年間の戦略設定プロセスにあります。このプロセスでは、提案された戦略への最初のインプットとその後のフィードバックを署名機関に求める、署名機関との正式コンサルテーションが行われます。この正式コンサルテーションは署名機関の権利でありPRIの**定款**に成文化されています。

責任投資エコシステム内の変革ペースは、急速に変化しています。したがって、このコンサルテーションでは、PRIが関連性を維持し、署名機関に価値を提供し続けるために、厳格な3年間の戦略サイクルからより機敏な取り組みに移行する必要があるかを検討しています。5,000以上の署名機関が属する成長組織として、3年ごとに戦略に関する正式コンサルテーションを行うことが組織の優先順位を設定するための適切なリズムまたは形式であるかどうか、ますます疑問視されるようになっていきます。

選出されたPRI理事会の役割は、戦略を設定し、署名機関が合意し理解した組織の優先事項を枠組み内で指示することです。

現在までのコンサルテーション・プロセスでのフィードバックからは、署名機関が以下を歓迎するであろうことがわかります。

- より定期的に戦略設定プロセスの優先順位を提案する機会を設けること。
- PRI理事会の役割と決定に関して透明性を向上させること。
- 戦略の実施に対するPRI理事会の説明責任を強化すること。

質問

5.1 PRIの戦略と優先事項への署名機関の意見をより多く反映させるための最善の方法は何だと思いますか。

(当てはまるものをすべて選択)

- a) PRI理事会にもっと連絡が取りやすくなること
- b) PRI理事会への意見提供の場として、毎年優先順位を特定する地域フォーラムを設けること
- c) PRI理事会への意見提供の場として、優先順位を特定するために署名機関のアドバイザー・コミッティを活用すること
- d) PRI理事会への意見提供の場として、優先順位を特定するための、投資家の種類や資産クラスごとなどの、共通するグローバル署名機関グループを設けること
- e) その他(具体的に記入してください)

PRIガイドンス(アセット・オーナー署名機関のみ)

PRIの戦略と優先事項への署名機関の意見提供を強化する方法を検討するとともに、PRI理事会の構成も検討しています。

PRIはアセット・オーナーによって設立されたもので、PRI理事会の構成は次のとおりです。

- 独立した議長1人(署名機関の投票によって確認される)、
- 選出された理事10人、
 - アセット・オーナーの署名機関によって選出された理事7人、
 - インベストメント・マネージャーの署名機関によって選出された理事2人、
 - サービス・プロバイダーの署名機関によって選出された理事1人、
- PRIの創設国連パートナー(国連グローバルコンパクトとUNEPファイナンス・イニシアチブ)の代表である常任国連顧問2人。

2014年の前回のガバナンス見直し以降、署名機関の基盤構成が変化し、署名機関の基盤に占めるインベストメント・マネージャーの割合が増加しました。組織としてのPRIも規模が大きくなるにつれ複雑さを増しており、PRI理事会はその活動を支援する理事会委員会に依存しています。PRI理事会には非アセット・オーナーが3人しかいないため、特に委員会の議論において、署名機関の多様性を完全に反映することは困難な場合があります。

コンサルテーションの第1部では、ほとんどのインベストメント・マネージャーとサービス・プロバイダーが、PRI理事会で非アセット・オーナーである署名機関の代表を増やしたいと回答しました。

この方法の実現を決定するには、投票するアセット・オーナーの過半数の同意が必要です。**このため、この質問はアセットオーナーのみに対するものです。**

質問

5.2 以下のうち、最も同意できる記述はどれですか？

(1つ選択)

- a) 私は、PRI理事会におけるアセット・オーナー、インベストメント・マネージャー、サービス・プロバイダーの署名機関の代表の現在のバランスに同意します。
- b) 私は、全体的なアセット・オーナーの過半数を維持しながら、PRI理事会での非アセット・オーナーの署名機関の割合を増やすことに同意します。

5.3 セクション5の質問に関する追加コメントがあれば記入してください。

(自由記入欄)

PRIのビジョン、パーパス、ミッション

PRIの現在のミッション・ステートメントには、今日の責任投資に関連する多くの要素が含まれていますが、PRIまたは署名機関を機動的または迅速な方法で導くには十分でない可能性があります。ミッション・ステートメントは、PRIの戦略を設定し、6つのPRI原則の実施において署名機関への支援を優先する上で、PRI理事会と幹部の指針となっています。

PRIのミッション

私たちは、経済的に効率的で持続可能なグローバルな金融システムが、長期的な価値創造に必要であると考えます。このようなシステムは、長期的で責任投資に報い、環境と社会全体に利益をもたらします。

PRIは、原則の採択およびその実施に関する協力を奨励すること、優れたガバナンス、誠実さ、説明責任を促進すること、市場の慣行、構造、規制の中にある持続可能な金融システムへの障害に対処することにより、この持続可能な国際金融システムの達成に取り組みます。

ミッション・ステートメントは責任投資の形成段階においてより広く訴えかけるように設計されましたが、変化する世界におけるPRIの関連性を継続的に確保するためには、より明確であることが今必要とされています。

このコンサルティングの初期段階では、ほとんどの署名機関が、PRIのビジョン、パーパス、使命を抽出し明確にするために、PRIミッション・ステートメントを更新する必要があると思うと述べました。

現在のミッション・ステートメントを、ビジョン、パーパス、ミッションについての個別のステートメン

トに分けることで、責任投資コミュニティにとってより明確な方向性が示され、PRI組織が署名機関を支援するためのパラメーターがより明確になります。より定期的な戦略設定サイクル（たとえば、3年を見据えた段階的年次ベース）や、関連する署名機関の関与プロセスの形式化が緩和されることで、署名機関は市場動向の変化に対するより敏感な取り組みの恩恵を受けるでしょう。

署名機関の大多数が提案に同意または強く同意する場合、PRIは提案されたビジョン、パーパス、ミッション・ステートメントについて署名機関に働きかけます。ミッションに重要な変更を加える場合には、署名機関の承認が必要となります。

質問

6.1 PRIのミッション・ステートメントを個別のビジョン、パーパス、ミッション・ステートメントへと分けて明確にすることに、どの程度同意しますか。

(1つ選択)

- a) 非常に同意する
- b) 同意する
- c) どちらでもない
- d) 同意しない
- e) まったく同意しない

6.2 セクション6の質問に関する追加コメントがあれば記入してください。

(自由記入欄)

7.

署名機関のPRIへの関わり の度合い、ならびに満足度

今回のコンサルテーションの焦点ではありませんが、PRIは、PRIに対する署名機関の全体的な関わり合いの度合いと満足度を測定するために、この機会を利用したいと考えています。

質問

7.1 あなたの考えは次の記述にどの程度当はまりますか。

「PRI署名機関であることは、自分の組織に価値をもたらす。」

(1つ選択)

- a) 非常に当てはまる
- b) 当てはまる
- c) どちらでもない
- d) 当てはまらない
- e) まったく当てはまらない

7.2 あなたの考えは次の記述にどの程度当はまりますか。

「PRI署名機関であることのメリットを、他の類似組織に勧めたい。」

(1つ選択)

- a) 非常に当てはまる
- b) 当てはまる
- c) どちらでもない
- d) 当てはまらない
- e) まったく当てはまらない

7.3 あなたの考えは次の記述にどの程度当はまりますか。

「自分の組織はPRI署名機関として継続する決意がある。」

(1つ選択)

- a) 非常に当てはまる
- b) 当てはまる
- c) どちらでもない
- d) 当てはまらない
- e) まったく当てはまらない

The Principles for Responsible Investment (PRI) Initiative

The PRI works with its international network of signatories to put the six Principles for Responsible Investment into practice. Its goals are to understand the investment implications of environmental, social and governance (ESG) issues and to support signatories in integrating these issues into investment and ownership decisions. The PRI acts in the long-term interests of its signatories, of the financial markets and economies in which they operate and ultimately of the environment and society as a whole.

The six Principles for Responsible Investment are a voluntary and aspirational set of investment principles that offer a menu of possible actions for incorporating ESG issues into investment practice. The Principles were developed by investors, for investors. In implementing them, signatories contribute to developing a more sustainable global financial system.

More information: www.unpri.org



The PRI is an investor initiative in partnership with
UNEP Finance Initiative and the **UN Global Compact**.

United Nations Environment Programme Finance Initiative (UNEP FI)

UNEP FI is a unique partnership between the United Nations Environment Programme (UNEP) and the global financial sector. UNEP FI works closely with over 200 financial institutions that are signatories to the UNEP FI Statement on Sustainable Development, and a range of partner organisations, to develop and promote linkages between sustainability and financial performance. Through peer-to-peer networks, research and training, UNEP FI carries out its mission to identify, promote, and realise the adoption of best environmental and sustainability practice at all levels of financial institution operations.

More information: www.unepfi.org



UN Global Compact

The United Nations Global Compact is a call to companies everywhere to align their operations and strategies with ten universally accepted principles in the areas of human rights, labour, environment and anti-corruption, and to take action in support of UN goals and issues embodied in the Sustainable Development Goals. The UN Global Compact is a leadership platform for the development, implementation and disclosure of responsible corporate practices. Launched in 2000, it is the largest corporate sustainability initiative in the world, with more than 8,800 companies and 4,000 non-business signatories based in over 160 countries, and more than 80 Local Networks.

More information: www.unglobalcompact.org

